

令和2年度南アルプスにおける捕食者対策事業結果 及び次年度計画（案）

1. 背景と目的

平成27年から令和元年まで5年間実施されたケージ保護事業と平成29年から実施した捕食者対策により、南アルプス北部地域では個体数の回復が見られた。

これにより、南アルプス北部地域ではケージ保護事業を終了し、捕食者対策のみを実施し、個体数の動向をモニタリングすることとなった。

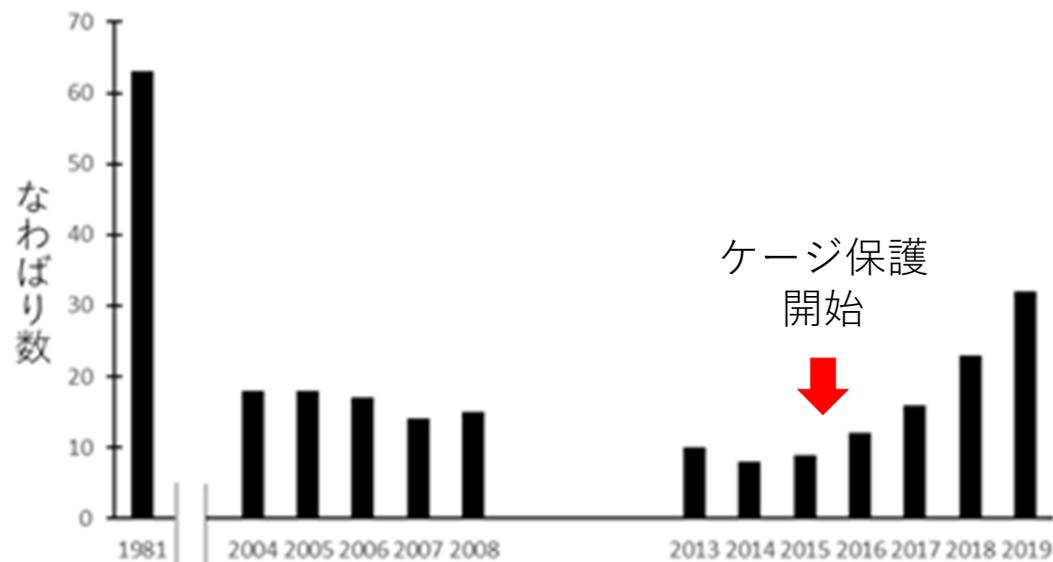


図1. 白根三山地域におけるなわばり数の変化



2. 令和2年度における南アルプス周辺山小屋の営業状況

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い多くの小屋が休業となった。



令和2年度南アルプス市営山小屋の休業について

現在の位置

- HOME > 観光情報 > 令和2年度南アルプス市営山小屋の休業について
- HOME > 観光情報 > アクティビティ > 令和2年度南アルプス市営山小屋の休業について
- HOME > 観光情報 > アクティビティ > 登る(山小屋) > 令和2年度南アルプス市営山小屋の休業について
- HOME > 観光情報 > 山を楽しむ > 令和2年度南アルプス市営山小屋の休業について
- HOME > 観光情報 > 観光情報ニュース > 令和2年度南アルプス市営山小屋の休業について

いいね! 0 | シェア 0 | ツイート | B!ブックマーク 1 | LINEで送る

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、南アルプス市営の「北岳山荘」、「白根御池小屋」、「広河原山荘」、「長衛小屋」、「兩俣小屋」の令和2年度の営業を休止させていただきます。山小屋の営業休止に伴い、テント場の営業も休止しますのでご了承ください。

山小屋はその性質上、「3つの密」の重複を回避することが困難であり、新型コロナウイルス集団感染の危険性が高いことを受け、休止を判断いたしました。ご不便をおかけしますが、皆様の安全のためにご協力をお願いいたします。

<https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/8193.html>



2020年（令和2年）南アルプス北部の山小屋は休業します

更新日：2020年5月29日

南アルプス北部の山小屋、林道バスの営業は行いません

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、山小屋において3密の状態を避けることが困難であり、登山者の安全が確保できないため、令和2年度は南アルプス北部地区の山小屋を休業します。これに伴い、北沢峠行きの南アルプス林道バス、仙流荘の営業も休止します。

休業する山小屋、施設について

- 北沢峠こもれび山荘
- 仙丈小屋
- 塩見小屋
- 馬の背ヒュッテ
- 大平山荘
- 長衛小屋（南アルプス市営の各山小屋も営業休止）

南アルプス

- 南アルプス林道の車両通行規制
- 2020年（令和2年）南アルプス北部の山小屋は休業します
- 2020年（令和2年）南アルプス林道バス【全面運休】
- 南アルプス山行日誌「塩見岳編」（令和元年8月5日）
- 南アルプス山行日誌「仙丈ヶ岳編」（令和元年7月25日）
- 南アルプスの貴重な高山植物保護活動
- 南アルプス登山情報
- 山小屋
- 南アルプス北部の山岳紹介とループ
- 南アルプス北部をめぐる前衛の山
- ジオパーク・エコパーク

http://www.inacity.jp/kankojoho/sangaku_alps/minamialps/mountainclosed.html

3. 南アルプス北岳周辺におけるモニタリング調査結果

- 今年は6月に実施を予定していた北岳周辺のなわばり分布調査は、限られた山小屋職員の滞在期間中に調査を予定していたが、予定日が天候不良による道路崩落の危険から調査を実施することができなかった。
- 9月2－5日には雛の生存数確認調査を実施したが、天候が良かったこともあり、成鳥数羽が見つかったのみで雛を連れた個体を発見することはできなかった。

なお、今年度は7月の大雨により南アルプス北部地域だけでなく、全国各地のライチョウ生息地における雛の生存率が非常に低かった。

4. 捕食者対策の実施結果

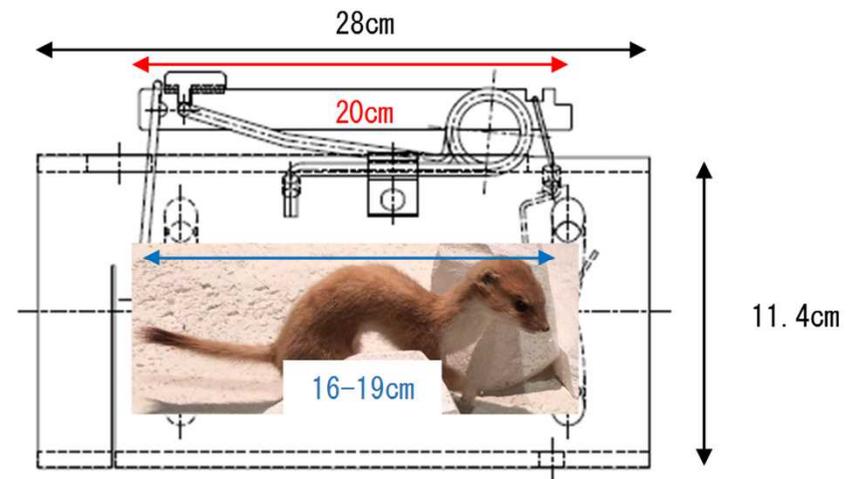
北岳山荘にて小屋明け直後の6月26日にかご罠でテン1頭が捕獲された。個体については安楽殺処置後冷暗所に保管され、8月24日にヘリコプターにて搬送した。



胃内容物調査などについて現在実施中。

5. 筒罾の設置

冬季に小屋内に設置し、小屋に侵入したテンを捕獲するための筒罾の使用を開始した。



筒罾の姿図及びサイズとオコジョの大きさ

令和2年度には小屋内に筒罾を設置し、来年度春に成果の確認をする。

6. 令和3年度事業予定

- 来年度も引き続き**5月～10月についてはかご罟**、**11月～翌4月までは筒罟**を用いた捕食者の捕獲を継続する。
- 北岳地域においてはなわばり分布調査や雛の生存確認調査を実施し、ライチョウの個体数や生存状況のモニタリングを継続する。
- センサーカメラ等を用いた捕食者のモニタリング調査も継続する。